

大田区 サミット ダイシン カドヤ

城取フードサービス研究所

城取 博幸

日配品売場

「ロングテール戦略のダイシン」に対し、「絞り込み戦略のサミット」、「上質こだわり品を売るカドヤ」

地域ナンバーワンの和日配の販売スペース、品揃えを誇るダイシン。

大田区の世帯人員は、全国平均が2.46人に対し20.0人（22年国勢調査）と低い地域である。

ダイシンの売りは「高齢者百貨店」で入店客の60%以上が50歳以上であると言われている。ダイシンの日配品のレイアウトは、入口の青果売場前に漬物売場。他の和日配商品は中央のアイランドケースにレイアウトされている。

品揃えの特徴は、漬物売場はトータルで40尺もの広い売場を確保している。梅干は約50SKUを品揃えし、上限価格は2480円、梅干を買うならダイシンと強烈な売場を作っている。古漬け、刻み漬けは日本各地に商品を集めている。浅漬けは思ったほど品揃えは多くない。ロングライフ商品を中心に品揃えしている。

佃煮、煮豆の売場も20尺と広く、50gからの少量パックの品揃えをしている。練製品も24尺と普通のSMの約2倍の販売スペースであり、「かごせい」の HALF板かまぼこ550円、伊達巻698円などの高額品の品揃えもある。

洋日配の特徴は、プレーンヨーグルトの売場が広く、フルーツヨーグルトはケース中上段に陳列されているのみである。チルドデザートは惣菜の平ケースの反対側の2段ケースであるが、プリンやゼリーの品揃えは少ない。

和日配と洋日配の売場スペース比率（多段ケース床尺数換算）は、65：35 和日配（144尺）に対し洋日配（82尺）であった。

すっきりとした売場で、買いやすさナンバーワンのサミット

サミットの売場は1階に日配品（練製品は2階）とドライ商品、2階が生鮮食品、惣菜、ドライ商品がレイアウトされているシャワー効果を狙った売場である。入口から牛乳、飲料、デザートなどの洋日配始まり、麺類、こんにやく、豆腐、漬物、佃煮などの和日配へと続く。1階の壁面多段ケースの殆どは日配品売場である。和日配と洋日配の売場スペース比率（多段ケース床尺数換算）は、57：43 和日配（75尺）に対し洋日配（57尺）であった。

品揃え、売場づくりの特徴は、各コーナー値頃価格の普段の商品に絞り込み、こだわり品などの品揃えは少ない。棚板が3尺であるため縦割がしっかりして

いて見やすく、買いやすい。

例えば、和日配は、魚介佃煮3尺(20SKU)、昆布佃煮3尺(25SKU)、煮豆3尺(20SKU)、袋入り煮物3尺(30SKU)など、4尺の棚板だと上下に陳列される商品をしっかりと縦割で陳列している点は、くくりがしっかりとされていて買いやすい売場である。

洋日配もコンパクトにまとめられているが、特に驚かされたのは、プリン、ゼリー、フレッシュデザート売場の売場だ。プリン、ゼリーのいわゆるチルドデザート売場スペースは3尺で23SKU、フレッシュデザートも3尺で23SKU、トータル6尺、46SKUという絞り込みをしている。普通であれば、プリン3尺、ゼリー3尺としたいところだが、地域がらなのか、プリンとゼリーで3尺にまとめている。

また、ピザコーナー(6尺)と中華コーナー(6尺)が連続してレイアウトされているのも特徴だ。用途ではピザと中華まんも同じスナック類、それを近くに陳列するのは正解であると思う。

こだわり商品で上質化を図るカドヤ

カドヤの立地は、アーケード商店街の道沿いにある小型店。1階が対面中心の生鮮3品、惣菜、酒、催事スペース。2階がドライ食品、菓子、雑貨、日配品売場とサミットとは反対のレイアウトである。

駅に近い商店街であるため、夕方には単身者中心に客が集中する。

カドヤの日配品の品揃えの特徴は、各コーナー必ず高額品をはめ込んでいることだ。例えば、こだわり豆腐300円、洞爺湖納豆367円、にんにく漬け525円、すみれラーメン550円、ギフト用煮豆1150円、白い命瓶入り牛乳504円、MAJOコーヒー499円、小岩井グルメファンヨーグルト396円、ギリシャヨーグルト189円、カルピスバター1260円、トラピスト発酵バター1102円など、「カドヤ特選品」のPOPを付けて日本中から商品を集めて品揃えしている。

小型店ながら、チーズ売場は地域一番の品揃え。ブロックタイプポーションパックの品揃えは約50SKUを品揃えしている。

ネクタイやスカーフの売場に例えれば、ダイシンは高齢者向けのネクタイ、スカーフを全て品揃えしている。サミットは、赤黄紺色の基本色を3色ずつ揃えた、絞り込まれた品揃え。カドヤは、普段の商品プラスブランド商品を品揃えした売場で三者三様で共存している。

和日配の販売スペースと最低価格商品

| | サミット | ダイシン | カドヤ |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 豆腐、揚げ尺数 | 3尺×3=9尺 | 4尺×6=24尺 | 4尺×2=8尺 |
| 絹ごし豆腐 | 400g 78円 | 300g 48円 | 350g 79円 |
| 納豆 | 3尺×2=6尺 | 4尺×2=8尺 | 4尺×1=4尺 |
| 三段重ね | 1パック 78円 | 1パック 68円 | 1パック 88円 |
| こんにゃく | 3尺×2=6尺 | 4尺×2=8尺 | 4尺×0.5=2尺 |
| 板こんにゃく | 1袋 98円 | 1袋 78円 | 1袋 99円 |
| 漬物 | 3尺×5=15尺 | 4尺×10=40尺 | 4尺×2=8尺 |
| 白菜漬け | 250g 198円 | 300g 148円 | 300g 218円 |
| 練製品 | 3尺×3=9尺 | 4尺×6=24尺 | 4尺×2=8尺 |
| 生ちくわ | 4本入 98円 | 5本入 98円 | 4本入 98円 |
| 麺類 | 3尺×4=12尺 | 4尺×5=20尺 | 4尺×3=12尺 |
| ゆでうどん | 1食 68円 | 1食 68円 | 1食 89円 |
| 佃煮、煮豆 他 | 3尺×4=12尺 | 4尺×5=20尺 | 4尺×2=8尺 |
| 昆布佃煮 | トレー 198円 | トレー 198円 | 袋 178円 |

洋日配の販売スペースと最低価格商品

| | サミット | ダイシン | カドヤ |
|--------|----------|----------|----------|
| 牛乳 | 3尺×3=9尺 | 4尺×3=12尺 | 4尺×1=4尺 |
| 無調整牛乳 | 1ℓ 158円 | 1ℓ 168円 | 1ℓ 198円 |
| 飲料 | 3尺×4=12尺 | 4尺×5=20尺 | 4尺×1=4尺 |
| コーヒー | 1ℓ 98円 | 1ℓ 128円 | 1ℓ 128円 |
| ヨーグルト | 3尺×3=12尺 | 4尺×4=16尺 | 4尺×2=8尺 |
| NBプレーン | 168円 | 135円 | 158円 |
| デザート | 3尺×2=6尺 | 平4尺×7=28 | 4尺×1=4尺 |
| プリン | 1パック 98円 | 1パック 98円 | 1パック 99円 |
| 乳製品 | 3尺×4=12尺 | 4尺×5=20尺 | 4尺×5=20尺 |
| ネオソフト | 1箱 258円 | 1箱 258円 | 1箱 299円 |

大田区 サミット ダイシン カドヤ 惣菜売場

米飯、寿司の品揃えはナンバーワンのダイシン

レイアウトは店舗の第2コーナーと第3コーナー中間の壁面ケースとアイランドケースに「二字型」に惣菜を配置している。アイランドケースのトップエンドの平ケースににぎり寿司、コンコース側に巻きずし、いなり、助六寿司、おこわ、赤飯、おにぎり、弁当類と並ぶ。寿司売場には、おしんこ巻き1本（6カン）120円、海鮮巻き1カン160円、いなり2個入りなどの寿司の少量パックが並ぶ。

もうひとつの柱である弁当類は、498円弁当が中心で約15SKUの手づくり弁当が陳列されていた。弁当、丼は全て手作りで40SKU程が品揃えされていた。弁当類はよく売れていた。

弁当は、65歳以上の在宅者（登録が必要）で配達地域内であれば、500円の商品1個から配達する。この辺が高齢者の指示を集めているようだ。高齢者多いだけあって、赤飯とおこわの陳列量が多いのも特徴である。何といても、ダイシンの惣菜の強みは弁当、丼、寿司である。ただ、一部弁当のラベル表示の不備が気になる。

壁面のセミ多段ケースでは、揚げものと冷惣菜売場で、天ぷら、コロッケ、フライのバラが24アイテム。視察した日は「やきとり110円バイキング」が行われていた。おかずを皿に盛った「おかずバイキング」もたまに行って楽しい売場を作っている。

SKUの拡大で買いやすさをだすサミット

サミットの惣菜売場のレイアウトは、第3コーナーに非冷の平ケース2台、壁面に寿司のセミ多段、突きあたりが冷惣菜のセミ多段ケースとL字型に配置。非冷平ケース1台は、天ぷら、フライのバラ販売23アイテム、もう1台は弁当、丼、スナックと揚物のパック商品で構成されている。弁当の中心価格は398円、仕入弁当を含めて5アイテムが陳列されていた。売れ筋のカツ丼は498円で販売されていた。

全体的には家族構成を配慮してか、中小パック商品が中心で大パックは少ない。SKUを広げた品揃えが徹底されている。売れ筋のポテトサラダのSKUは、小パック100円、中パック178円、大パック298円、2店盛り288円の4SKUを品揃えし買いやすさを演出している。他の商品でも必ず2SKUの品揃えを行っている。

揚物の柱である「鶏の唐揚げ」100g188円は、「国産生姜使用 手揉みふ

つくら 鶏もも唐揚げ」とシールが貼られていたため購入して試食。確かに生姜の香りがしてつくらと揚げてあり揚げ色もいい、肉の味もしっかりしていて、「これが手揉みの味」と試食した者全員に好評であった。

寿司は、当日は8カン398円と安めの設定をしている。また、冷蔵惣菜のアイテム、SKUはダイシンやカドヤよりも多かった。

デパ地下的売場で対面を強化するカドヤ

カドヤの惣菜のレイアウトは、1階の入口付近に冷蔵惣菜、弁当、寿司、おかず類のバイキング、揚物量り売りと続く。売場はさほど広くはないが、精肉対面、鮮魚対面、催事対面、惣菜対面とデパ地下の食品売場を思い出させる。

商店街に立地しているため、夕方の通勤客や単身者が多く、惣菜は売れている感じだ。

弁当の品数は多くはないが、幕の内弁当498円を下限に、上限の1380円の「うなぎ弁当」まで幅広い品揃えを行っている。にぎり寿司は10カン698円が下限で、デパートで販売されているような高級寿司の提供を行っている。その反面、その脇では、7種類の1本100円の細巻寿司のバイキング販売と安さの訴求も行っている。

惣菜の対面ケースには100g200円前後の和食、中華メニューの量り売りを25アイテム品揃えして、ダイシンやサミットにはない販売方法を行っている。高額商品ばかりかと思いきや、鶏の唐揚げ100g99円などの価格訴求を行っている。

催事コーナーでは、ジャンボシューマイと焼き小龍包の実演、試食販売で客を集め、本当にデパートに地下に居るような錯覚を起こしてしまいそうな売場である。

惣菜は、「少子高齢化、核家族化」の市場の中で、三者三様の売場を作っている。ダイシンは「老人市場」に特化している独立百貨店で、食品だけでなく年配者の欲しくなる身の回りの商品が全て揃う強みがあり、洋惣菜らしき商品の品揃えは少なく、ターゲットを年配者に絞り込んでいる。

サミットは、チェーンストアで品揃えは統一しているが、ダイシンほどのアイテム数はないが、その不足分をSKUでカバーしている。

カドヤは、デパ地下を思わせる売場で、量り売り、イベント販売を強化してにぎわいを出しているのが特徴。

三社とも独自の品揃えと販売方法で地域に密着した、「共存共栄」がなされているようである。現在の「少子高齢化、核家族化」地域の売場の傾向を見たような気がする。

惣菜のアイテム数と価格比較

| | サミット | ダイシン | カドヤ |
|--------|-----------|------------|------------|
| 米飯 | 約20SKU | 約40SKU | 約15SKU |
| 弁当中心価格 | 398円 | 498円 | 498円以上 |
| カツ丼 | 498円 | 450円 | 498円 |
| 寿司 | 約25SKU | 約40SKU | 17SKU |
| ミニ助六 | 298円 | おしんこ巻 120円 | エビ4カン 300円 |
| にぎり8カン | 398円 | 390円 | 10カン 698円 |
| 揚物 | 43SKU | 40SKU | 15SKU |
| バラ販売 | 23SKU | 24SKU | 6SKU |
| パック | 20SKU | 16SKU | 9SKU |
| 鶏唐揚げ | 100g 188円 | 100g 158円 | 100g 99円 |
| 冷蔵惣菜 | 約55SKU | 約30SKU | 約20SKU |
| | | | バイキング 25品 |
| ポテトサラダ | 107g 178円 | 149g 198円 | 110g 198円 |